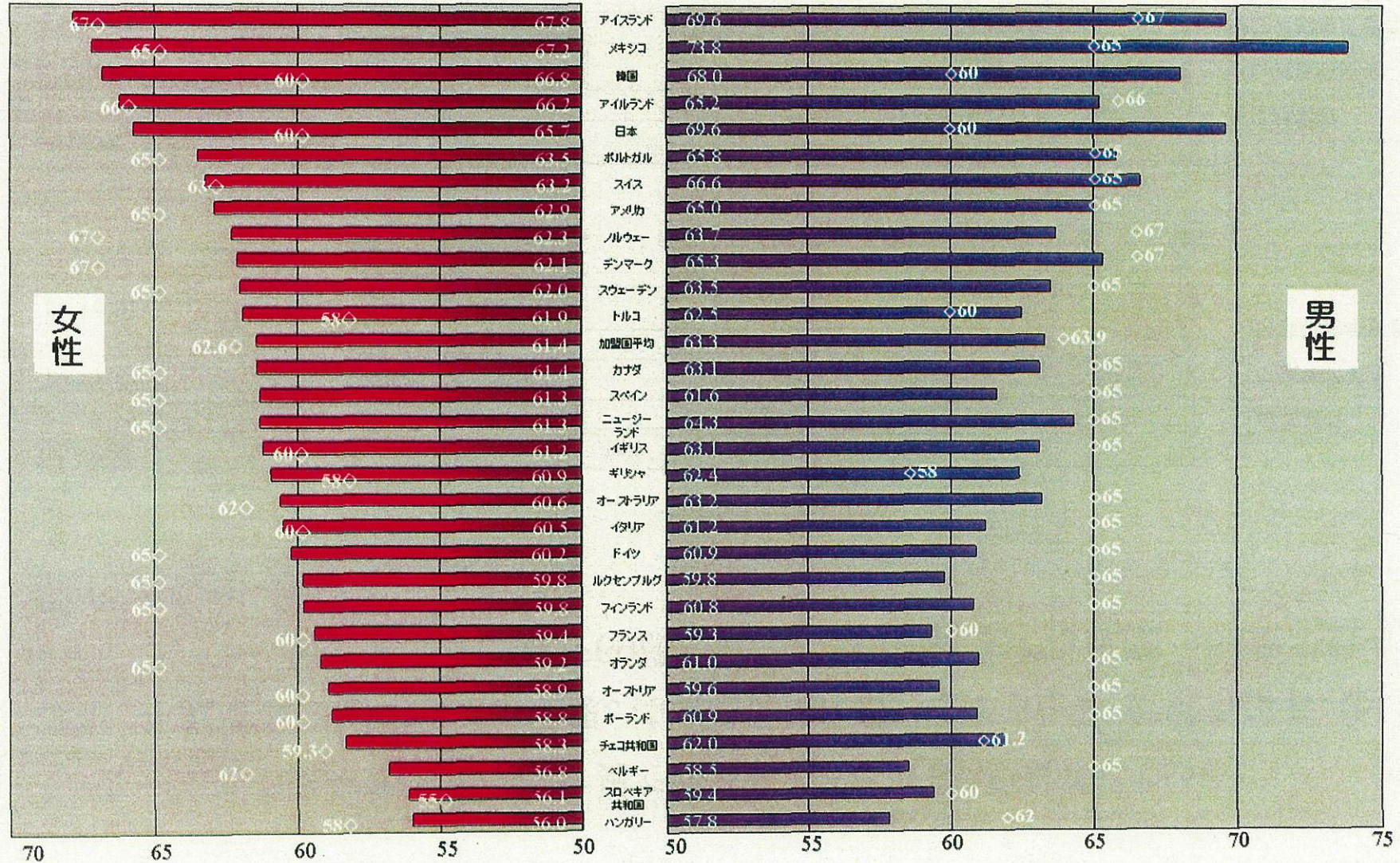


OECD諸国における高年齢者雇用の状況（1997年－2002年）

下記表の棒グラフは実質退職年齢（労働力人口推移に基づきOECDが算出*）を表し、◇は制度上の定年年齢（年金支給開始年齢等を含む）を表す。



* 実質退職年齢：40歳以上の人々の各5歳刻みで非労働力化する「推計平均年齢」に対応したものの。この推計は40歳を最初の年齢とする5歳刻みごとの疑似コーホートを用いて求められたもので、この推計値は、始期と終期の間において、全コーホートの労働力率の低下合計に占める各コーホートの割合によって、各5年間の各コーホートの平均年齢を重み付けすることによって計算されている。

(資料出所) OECD編著「高齢社会日本の雇用政策」(平成17年)